



クリーンセンター建設に向けて

～クリーンセンターは、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

新たなクリーンセンターの建設は、木津川市にとって、一日も早く解決しなければならない、たいへん重要なかつ緊急の懸案事項です。平成27年3月にクリーンセンター施設整備工事の施工事業者が決定しました。

【クリーンセンター施設整備工事の事業者を決定】

打越台環境センターに代わるクリーンセンターの早期完成を目指して、去る3月18日に議会の議決を経て、施設整備工事の事業者を決定しました。近く、敷地造成工事も完成し、いよいよ、クリーンセンターの早期稼動を目指して施設整備の設計・工事に着手します。

- 1 施設整備事業者 株式会社タクマ(兵庫県尼崎市)
- 2 契約金額 89億6千4百万円(消費税込)
- 3 工期 平成27年3月から平成30年9月
(実施設計、試運転を含む)



【クリーンセンター施設概要等】

1 施設の概要

- ①建設場所 鹿背山川向地内
- ②焼却能力 94t／日(47t／日×2炉)
- ③焼却方式 全連続燃焼ストーク方式
- ④発電設備 発電効率：12%以上(高効率ごみ発電)
最大発電出力：1,190kW(予定)

2 施設の主な特徴

①排ガス対策

- ・高度な自動燃焼制御を導入し、安定した高温燃焼を低空気比で実現することで、排ガス量の抑制を図ります。
- ・集じん器および脱硝反応塔を用いた排ガスシステムにより、以前、広報特別号の生活環境影響調査の結果でお知らせした排ガスの自主基準値を達成します。なお、水銀は、今回の事業者選定時において、新たに設けた自主基準値です。

②熱エネルギーの有効活用

- ・ごみを焼却した際に発生する熱を効率的に回収する最新技術を導入したごみ発電システムにより、高効率発電を実現します。

③環境保全対策

- ・ごみピット内の空気は燃焼用に吸引し、またプラットホームの出入口にエアカーテンを設けて、臭気漏れ対策を講じます。
- ・雨水を貯留して、敷地内植栽の散水などに有効利用します。

項目	法規制値	自主基準値
ばいじん	0.15g/m ³ N以下	0.01g/m ³ N以下
硫黄酸化物	K値：17.5以下 (約4,600ppm相当)	30ppm以下
窒素酸化物	250ppm以下	50ppm以下
塩化水素	430ppm以下	50ppm以下
ダイオキシン類	5ng-TEQ/m ³ N以下	0.05ng-TEQ/m ³ N以下
水銀	—	0.05mg/m ³ N以下

排ガスの法規制値と自主基準値

クリーンセンター整備にあたり、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をよろしくお願いします。

クリーンセンター建設推進室(まち美化推進課内) ☎75-1226 Fax72-3900 E-mail:clean-center@city.kizugawa.lg.jp